

# 半導体漫遊記

## 湯之上隆

132

熊本地方で4月14日  
 および16日に、それぞ  
 れ、マグニチュード6  
 ・5および7・3の地  
 震が発生し、益城町で  
 は2度にわたり震度7  
 を観測した。

熊本地方で4月14日  
 た知人で、半導体製造  
 装置に使うポンプ等の  
 会社を経営しているA  
 さんから、「熊本の被  
 災者が迷惑をしている  
 のは報道ヘリコプタ  
 隊は、陸上379機、  
 益城町の面積60平方

以上におおっているよ  
 うである。さらに、こ  
 れら報道ヘリは、人命  
 救助や資材運搬を行っ  
 ている自衛隊ヘリの活  
 動の妨げになっている  
 と懸念している。

そこで日本には、何  
 何と10機以上もあるの  
 だ(これは多すぎる!)。  
 これら報道ヘリが、  
 さらに具合が悪いこ

例えば、土砂災害で  
 行方不明者が発見され  
 たとき、自衛隊が人目  
 につかないように、ピ  
 ニールシートで囲って  
 いるのに、ヘリで上空  
 から撮影している映像  
 を見たときは、涙が出  
 るほど、怒りを感じま  
 したと述べている。

リがウンカの如く集中  
 のでしようか」と提案  
 して飛んでくるのであ  
 られている。避難者に  
 迷惑を掛けず、自衛隊  
 などの活動を妨げない  
 ために、報道各社の協  
 力を、ぜひこの提  
 案を実現していただき  
 たい。

報道各社が飛ばすので  
 はなく、極力少なくし  
 て、共同の映像を使用  
 することにできないも  
 長)

# 多すぎる報道用ヘリ 被災者が迷惑、自衛隊活動の妨げに

震度7は、激震と名  
 付けられた最大級の地  
 震である(それ以上の  
 震度はない)。国内で  
 震度7を観測したの  
 は、1995年の阪神  
 大震災、2004年の  
 新潟県中越地震、11年  
 の東日本大震災、そし  
 て今回の熊本地震の2  
 回である。つまり、益  
 城町は、日本でわずか  
 5回しか記録されてい  
 ない震度7の大地震  
 に、28時間の間に2回  
 も襲われたのである。  
 この益城町で被災し

「であるという電子  
 メールを頂戴した。  
 メールによれば、自  
 衛隊の救援ヘリ以外に  
 も、常に数機の報道ヘ  
 リが朝早くから夜中ま  
 で上空を飛んでいると  
 いう。そのため、避難  
 所は戦争映画のような  
 爆音に包まれており、  
 被災者の不安感を必要

海上97機、航空15機、  
 合計491機を保有し  
 ている。公官庁には、  
 警察航空隊95機、消防  
 防災77機、海上保安庁  
 48機など合計228機  
 ある。事業用には約2  
 30機あり、そのうち  
 約80機がテレビ局など  
 報道用である。また私  
 人的用途165機の中

対、南阿蘇を含めても  
 高々100平方キロの中  
 に、全て集中するわけ  
 である。Aさんは、  
 「報道ヘリが、被災者の  
 迷惑を考えず、恐怖心  
 をあおって、ハイエナ  
 のように決定的瞬間  
 や、のぞき見的または  
 刺激的映像を探してい  
 る」ように感じるとい

とに、益城町には、熊  
 本空港と陸上自衛隊高  
 遊原分屯地の両方があ  
 る。熊本空港は、現在  
 運行が開始され多くの  
 旅客機が離着陸してい  
 る。一方、高遊原分屯  
 地からも、多くの物資  
 輸送機やヘリが離着陸  
 している。その狭いエ  
 リアに、全ての報道ヘ

表1 日本のヘリコプターの数

所属	小計(機)	合計(機)
自衛隊 (注1)	陸上自衛隊	491
	海上自衛隊	
	航空自衛隊	
公官庁 (注2)	警察航空隊	228
	消防防災	
	海上保安庁	
	その他公官庁	
	運送事業	
民間 (注3)	使用事業	約230
	薬剂散布	
	送電線巡視	
	報道取材	
私的分野	約165 (新聞社約20以上)	約165
合計	1100以上 (報道約100以上)	

出所: 注1)2015年度版防衛白書  
 注2)ウイキペデア  
 注3)日本ヘリコプター協会(2004年末)